

男女共同参画担当大臣 加藤 鮎子 殿  
法務大臣 小泉 龍司 殿  
文部科学大臣 盛山 正仁 殿  
国土交通大臣 斉藤 鉄夫 殿  
国家公安委員会委員長 松村 祥史 殿

2024年1月11日

日本共産党国会議員団

東京都議会議員団、埼玉県議会議員団、千葉県議団、神奈川県議会議員団

## 受験生をねらった痴漢の加害防止と被害救済の強化に関する申入れ

痴漢は、重大な犯罪であり、個人の尊厳を踏みにじるもので断じて許せません。

数年前から、大学入学共通テストなど受験シーズンにあたり、SNS 上で受験生に対する痴漢行為をあおる投稿が相次ぐ事態となっています。卑劣な犯罪であるだけでなく、試験に遅刻できず、被害の申告をためらう受験生の弱みにつけ込んだ悪質なものです。

日本共産党は、国会や地方議会で痴漢ゼロ実現へ全面的な対策を求めてきました。

政府による「痴漢撲滅に向けた政策パッケージ」策定などは重要な前進です。この時期の対策強化を含め政府としてさらにとりくみを進めるよう、下記のとおり申し入れます。

### 記

1. 中学校、高等学校、大学などの受験シーズンに痴漢や盗撮の加害を起こさせないよう、公共交通機関における対策を普段以上に強化すること。

鉄道事業者を含めて関係機関と連携し、駅係員の増員、電車内の巡回警備、警察官による巡回を強化すること。

2. 「痴漢は犯罪」など、痴漢加害防止のためのアナウンス放送や電車内の動画、電光掲示板、SNS での呼びかけなどを強化するよう鉄道事業者に求めること。

目撃者など第三者が被害を確証し、痴漢を止める行動をとることができるよう「アクティブ・バイスタンダー（行動する第三者）」の役割を重視したとりくみを行うこと。

3. 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターや警察など痴漢被害に遭った際の相談機関、窓口を強化し、広報すること。

4. 痴漢被害のために大学入学共通テストに遅刻する場合、救済措置の対象となる旨を周知すること。大学入学共通テストにおいて、制服でも私服でも受験できることについて周知を徹底すること。他の入試についても同様の対応となるよう協力を依頼すること。

5. 政府の「痴漢撲滅パッケージ」を確実に実行するため、痴漢被害の実態調査や各地の加害防止と被害者の救済対策強化のとりくみを踏まえ、実効ある対策を行うこと。

以上